

火災による死者の発生を防ぎましょう

住宅火災による死者は、建物火災による死者の約9割を占めており、このうち放火自殺者などを除く死者の約7割が65歳以上の高齢者となっています。火災による死者の発生を防ぐため、次のことに気を付けましょう。

早く知る

火災からの逃げ遅れを防ぐため、寝室や階段に煙を感知し、警報音で知らせてくれる住宅用火災警報器を設置しましょう。

早く消す

万が一火災が発生したときに消火器を備えていれば、消火することができます。消火器は重く置き場所に困ると思われるかもしれませんが、消火器の中には軽くて小さい住宅用消火器もありますので、自宅への設置にご協力ください。

火を広げない

寝たばこによる火災や、高齢者に多い着衣への着火を減らすために、枕や布団カバーなどの寝具や、パジャマ、エプロンといった衣類に、火が燃え移りにくい加工をした防炎品を使用すると効果的です。

また、カーテンやじゅうたんなども防炎品を使用していれば、火災の拡大を防ぐことができ、その間に避難する時間を作ることができます。

老朽化した消火器の適切な取り扱いを

腐食が進んだ消火器を操作すると、消火器が破裂する恐れがあります。

屋外に長期間放置するなどして、本体外面に腐食の見られる消火器は、レバーを操作すると大変危険ですので、絶対に操作しないでください。

消火器の廃棄処分方法

(株)消火器リサイクル推進センター（☎03-5829-6773）に回収・リサイクル窓口が設置されていますので、ホームページや相談窓口を活用して、近くの受け付け窓口で適切な廃棄処分をしてください。

問い合わせ先 福山地区消防局予防課

（☎084-928-1192）

救急医療情報キット 命のボタンを 配布しています



命のボタンは、高齢者や健康に不安がある人、独居世帯、昼間のみ独居状態になる人などを対象にした緊急時の情報伝達キットです。

必要な個人情報やかかりつけ医などの医療情報、緊急連絡先などを記入した用紙などをプラスチック製の容器に入れ、その容器を冷蔵庫に日常的に保管しておくことで、緊急時に救急隊や医療機関に必要な情報が伝わり、適切な処置が速やかに行われるようにするものです。

※所定の同意書への署名、押印が必要です。

持参するもの 印鑑

配布場所 地域福祉課、上下支所市民生活係

問い合わせ先 地域福祉課

（☎43-7148）